

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今回の外部評価に当り、全体会議で地域の中に生きていくことの大切さを再認識し、いかに地域の中で、そして地域の方のために役立てるかという視点で考え、「地域のみなさまの中で、やすらぎのある生活の場を目指します」と、理念を多少変更した。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	項目1のとおり、改めて理念を作り上げたことでこれからの取組みについて再確認できた。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方には理解してもらえない取り組みは出来ない。	○ 運営推進会議等を通して、取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方との日常的な挨拶や収穫した野菜を頂いたりしている。それに対し、入居者さんの縫った雑巾などを差し上げたりしている。また、玄関先に花を植えたりして雰囲気作りはしている。日中は玄関にも施錠はしていない。お誘いの言葉がけもしている。	○ 近所の方に、お茶でも飲みに来て頂ける機会、雰囲気作りをしていく。(運営推進会議も兼ねて)
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	現状ではほとんど行事への参加はしていない。	○ 運営推進会議を利用して、地域の皆さんに発信していく。

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は取り組んではいない。	○	地域の方に対して、認知症の理解をして頂ける為の機会を作る必要があると考えているので地域の方のニーズを聞いてみてから考えたい。また、それに家族会のみなさんにもご協力頂ければとも考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の改善項目の中の、研修に関しては可能な限り、外部の研修に参加できるよう、また、資格取得を促し、勉強できる機会を作ってきた。定期的なたよりは実行できていないが、日頃の様子分かるように写真を多く掲示したり、写真付きのハガキを作成したりしてきた。	○	改善には取り組んできたが、職員に、自己評価の意義をなかなか理解してもらえていない。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	GHでのサービス提供状況や、ひやりはっと、事故報告等をしている。	○	評価への取り組みに関する報告をしていくようにする。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	特にそのような取り組みはしていない。	○	保険者とのつながりが薄いので、運営推進会議を足がかりにしたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	特にそのような取り組みはしていない。	○	この分野にも理解をしなければいけない事を気付いたので、まずは理解するよう心がけていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	特にそのような取り組みはしていない。	○	この分野にも理解をしなければいけない事を気付いたので、まずは理解するよう心がけていく。

シルバーハウス塚原

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分時間をかけ、安心してサービスが開始しているよう配慮している。また、解約に関しても不安を与えないように時間をかけているし、記録にも残している。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員はくみ取る努力をしていると思う。また、外部者という点では、介護相談員さんがそれに当たると思う。月1回の受け入れを行なっている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理に関しては、定期的に年に3～4回報告を行なって、サインをいただいている。また、定期的には行っていないが、健康状態の報告は随時行なっている。職員の移動等は家族会や、面会時に報告している。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部者へ表せる機会には特に設けてはいないが、苦情等があった場合は、報告書にて報告させ、全職員に周知徹底できるようにしてある。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度開催している運営会議の場で発言できる機会を設けている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	現在の勤務体制の中で対応ができるよう考えている。柔軟には対応できてはいない。	

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職を最小限に抑えるためにも、なるべく定時に近い時間であがれるように業務内容の見直しをしたり、時給を上げられるように経営努力をしたりして、職員満足度のアップを図っているつもり。離職等があっても、いつでも働けるアルバイト職員を確保しているので、ある程度なじみのある人に働いてもらえる。	○	離職率の低下が最大の課題であると考え。職員の満足度アップを常に考えていく。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人主催の勉強会等を開催し、機会を確保している。法人外主催の勉強会の情報も伝えてはいる。参加は自由だが。	○	積極的に参加しない職員への働きかけを検討していく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在取組中。佐久圏域内のGH（12カ所）と協働している。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	積極的に取り組めていないかもしれない。つきに1度の運営会議がその場になるはず。	○	職員の希望にも添いながら、管理者としてストレスの原因となっている事柄の改善を図っていこうと思う。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2回目標を話し合っ設定し、スキルアップの為の後押しをしているつもり。（法人全体での取り組み）		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人からは入居後に聞く事がほとんどである。ショート利用の方には十分に聞ける機会はまだある。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	なるべく電話ではなく、来所していただき初回の相談時には時間をかけ、訴えを可能な限り聞き、対象者の胸のつかえが少しでもとれるように対応しているつもり。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネと連携して、そのように対応できていると思う。それに必要な知識も持ち合わせているつもり。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な限りショートステイ利用を実施し、それが不可能な場合は、日中数時間GHで過ごして頂き、数回繰り返し本人の負担軽減、職員サイドも入居の見極めの機会にしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する人、される人という視点を取り払う為にも、この方は、どういう生き方をしてきたのかという事に焦点をあて、人の理解を出来るように職員に投げかけているつもり。	

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	なるべく家族と協働で支えていくという姿勢をとっている。家族に協力を求める機会が多いと思う。(葬儀への参列)		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人から聞くことが出来た家族に対しての本心など、良好な関係を築くのに役立つようなことが有れば、それが家族に伝わるように橋渡しをしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と一緒に、兄弟との面会、実家への外出、電話連絡等が出来るように支援しているが、出来る方と出来ない方に分かれている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	人間関係については把握できている。また、孤立してしまいがちな方へのフォローも出来ていると思う。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	相手が嫌な思いをしていない限り、年賀状の送付などしている。たまに必要に応じて電話などしている方もいる。必ずお葬式には管理者が参列している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話などから意向を汲み取り、把握にはもちろん努めているが、それを実現するにはまだまだであると思う。	○	ご家族への協力の依頼、地域資源の活用などをしないと、その人の望む生活は送れないであろうと実感している。積極的にGHサイドから発信していこうと思う。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来ている。口頭でそれぞれが知り得た情報を伝えあい、共有している。	○	ただし、全てを記録に残していないので、それをしていく必要があると思った。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	どんな一日の過ごし方が、その方にとって安心できるリズムなのかを把握できていると思う。やりたいこと、やりたくない事、不安になるきっかけ、安心できるきっかけ、健康状態等の把握はできている。	○	把握し易いような書式があるか探していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や必要に応じて専門職との話し合いはしている。ただし、スタッフ間での話し合いの時間が取れなくなってしまっている。	○	朝の申し送り時間に簡潔にカンファレンスを行う。期間の見直しもその場で行う。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	プランの立案より、話し合いを持って即実施している。書式での統一が遅れがち。	○	朝の申し送り時間に簡潔にカンファレンスを行う。期間の見直しもその場で行う。

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの評価も兼ねて、日々の記録を残している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が困難の場合は、通院、入退院の送迎、個人の私物の買い物の送迎、入居前の体験利用、ショートステイ等を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	特に行っていない。	○	そのような発想を管理者としてあまり持っていなかったように思う。地域との関わりを運営推進会議などを通して働きかけていくようにする。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特に行っていない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	特に行っていない。	○	必要に応じて、地域包括との連携も検討していくようにする。

シルバーハウス塚原

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	理解のある複数の専門医とつながりがもてる様、努力していく。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	なるべく早い段階から家族とは話し合い、カルテにも残して、申し送り時などに口頭で説明してきたつもりだったが伝わっていなかったので、全体会議でもう一度ははっきりと伝えようと思う。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報交換を密に行っている。家族とのやり取りは記録に残してある。また、なるべく詳しい情報を入居先の施設に提供してる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	慣れによる不適切な言葉かけが増えてきたように思う。苦情があった事をきっかけに、全員で再度意識しなおしている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	可能な方には働きかけもできている場面も多くあるが、話を聞くのみで、対応できない事も多くある。	○	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	優先すべき都合（受診等）があるときは別だが、極力入居者のペースを尊重する姿勢は出来てると思う。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望する美容室に行っている方がいる。また、日常にお化粧をしている方もいるし、外出時には基本的には、お化粧できるように配慮している。		

シルバーハウス塚原

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	GH内だけで完結させる事の内容、地域資源も活用しながら、生活の幅をより広げる努力をしている。

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を自分で持っている方が3人いる。買い物に出かける際には、買い物が出来るよう支援している。</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>いつでも希望に添えるという余裕は無いので、難しい事ではあるが、なるべく添えるようには努力している。散歩、買い物、ドライブ等。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>個別のお茶飲み会の計画をしているが、予定通りには実行できていない。家族と協同して涼しくなったら出かけられるようには考えている。</p>	○	<p>可能な限り、日常的にスタッフがそういった発想が持てるように意識付けしていく必要性を感じた。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があるときは、事務所内の電話を利用できるように支援している。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>個人の居室でゆっくり過ごしていただけるよう、また次も気持ちよくきていただけるよう対応しているつもり。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>見守り重視。ひやりはっと、事故報告等により、同じ事故を繰り返さないよう努力し、家族とも共有している。</p>		

シルバーハウス塚原

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>日常的に不安な事を訪看のN r sに相談するし、解決しておくように、スタッフに意識付けていく。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

シルバーハウス塚原


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	特にケガに繋がる事に関しては、リスクが高くなるときは説明をし、なるべく抑制しなくて済む環境作りをしている。また記録にも残している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日午前中にバイタルチェックをし、体調の変化に気づけるよう努めている。それを訪看に相談し、速やかに対応できるように体制作りをしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ある程度理解できていると思われる。特に下剤等に関しては体調を十分把握した上で量を調整している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘は不穏に直結すると考えている。散歩、食材での工夫（排便が見られないときには、牛乳を飲むようにする等）をしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のうがい、義歯磨き、週に1度のポリデントを使った義歯洗浄を行っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養状態の把握や、水分量には特に注意している。足りないと思われる場合は、医師や、管理栄養士への相談、スタッフによる水分量のチェックを行い、必要量が確保できるように支援している。		

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	法人内での取り決めがある。特に手洗いを重視している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗い、消毒（毎晩まな板を漂白し食洗器で洗浄、スポンジ等の煮沸消毒）、賞味期限の確認を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先に花を飾っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるような（花、お盆の飾りつけ等の）心がけている。よしずを使つての遮光。あまり新しいものは使わない。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	限られた狭いスペースなので十分とは言えないと思うが、気の合わない入居者同士の距離や、気の合う方同士が過ごし易いように、ソファを増やしたりした。		

シルバーハウス塚原

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	なるべく自分らしい空間作りの大切さを説明し、 可能な限り協力してもらい安心できる空間作りの 工夫をしている。GHサイドで取り付けていくこと もある。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気には十分配慮している。温度調節につい ては、スタッフ間でも意見は分かれる。家族から も意見はあるが、入居者がどう感じているかを第一 に考えていこうと思う。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下の両側に手すりがある。お風呂場にも必要に 応じて使えるように浴槽内チェアなどを揃えて ある。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	トイレ、居室の目印を分かりやすく、分かるかど うかを本人に確認しながら作った。	○	一人一人の能力に応じて柔軟に作り変えていく事 に配慮していく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	洗濯物を干し易いようにベランダに移動した。ま た安全に一服できるようにベランダを喫煙場所と している。	○	地域とのかかわりをもっと持てるようにするた めに外出は大切と考える。安全に出易い環境整備も 検討していく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

シルバーハウス塚原

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

佐久圏域内のGHと協働して、相互での訪問研修ができ、お互いのいいところを持ち帰って現場に活かす、スタッフのストレス軽減が出来る体制作りを行っている。スタッフはストレスも多く、大変な状況の中一生懸命働いてくれているので、それに答えるためにも、働きがいのある職場作り、ストレスも軽減できる体制作り、管理者としてのスタッフへの気遣いを大切にしていこうと思っている。